

# JMRC 地区通信

JMRC各地区から名物イベント情報や規則改正、告知などのお知らせを発信する地域の伝言板ページです

JMRC  
関東

8月の全日本ジムカーナ  
関越スポーツランドが熱い！

2015年JAF全日本ジムカーナ選手権第6戦「KSCハイスピードスラローム」が、関東エリアにある関越スポーツランドで8月1〜2日にかけて開催されます。1日は公開練習、2日が決勝となります。

昨今の全日本ジムカーナ選手権は、ミニサーキットでの開催が多くハイスピード化の傾向にあります。ジムカーナの聖地である関越スポーツランドは、パイロン設定のみとなるジムカーナ専用コースです。全日本を戦う選手たちの、華麗なハンドリングは、パイロンをギリギリまで攻めて走るマシンを観客席から一望できるのも、ジムカーナの魅力です。また、全8戦の第6戦となる今戦は、タイトル争いも佳境を迎える段階にあり、各クラスでの

バトルもますます白熱することになるといいます。

関越スポーツランドは、高遠道路の分岐点である群馬県高崎市に位置しておりアクセスも良いので、毎年多くの方にお越しいただいています。多くのギャラリが集まることで、選手陣営のモチベーションも一気上がり、真夏の暑さをさらにヒートアップさせるような盛り上がりになるといいます。両日とも、午前9時から走行が始まります。熱中症に十分対策をされて、ぜひ来場ください。

なお、会期中は周辺で高崎祭りが開催される予定です。来場の際は、交通規制なども確認されることをお勧めします。ぜひ、ジムカーナとお祭りを一緒にお楽しみください。



<http://www.jmrc-kanto.org>

JMRC  
中部

惜しまれつつ……  
山室山ダート、最後の開催

長年に渡り中部のダートトライアルを育ててきた三重県松阪市の名門ダートトライアルコース、山室山ダートが、5月10日開催のJMRC中部ダートトライアル選手権第3戦／東海シリーズ第2戦「PADDOCK／TRMダートトライアル」をもって、惜しまれつつもその営業を終了することになりました。

当日は好天のなか、80名を超える参加者が集まりました。また主催者の豪快なコース設定により、ラストランを飾るにふさわしいイベントとなりました。

中部ダートトライアル界の創生期より、その発展に多大なるご支援を頂きましたコースオーナーの井田様、そして三重地区の主催クラブの皆様、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、JMRC中部ダートトライアル選手権も、後半戦に入ります。これから主戦場が門前、今庄へと移っていく、より激しい接戦が繰り広げられることが期待されます。どうぞ、今季のシリーズ戦況にもご期待ください。

今後のイベント情報につきましては、JMRC中部ホームページ（下記帯にURLを掲載）及びFacebookページ「いいね！ダートラ〜中部地区のダートラ交流ページ」（いいね！ダートラ）で検索）に順次掲載していきますので、ぜひアクセスして小まめにチェックしていただければと思います。



<http://www.jmrc-chubu.jp/darttrial/>

## JMRCとは?

JMRCは「JAF Motorsports Clubs Regional Conference」の略語で、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ、レースなどのモータースポーツを楽しむ参加者、主催者を応援するともに、業界の発展を目指して活動を行っている組織です。北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8地区に分かれています。



## ダートトラは前半戦終了 学生参加も多く活性に期待!

中国のダートトライアル地区戦は、

全8戦中、第4戦まで終了しています。PN1クラスは九州から遠征している永田誠選手が2勝して現在のところポイントリーダーとなっていて、地元2位宮本選手、3位山谷、河野選手と続いています。N1クラスはこれも2勝している松岡修司選手がポイントリーダーで、5点差で高橋選手が2位、少し空いて建部選手が3位となっています。SA1クラスでは、今のところ全戦出場している太田智喜選手がポイントリーダーですが、2位の西田選手は2回1位を獲得しています。有効ポイントが関係してくる後半戦に向けて

こちらが勢いづくか楽しみです。その後には将来有望な若手の福島選手、蔵本選手、学生の古賀選手と続いています。RWDクラスではGC8改の山崎貴之選手がポイントリーダーですが、出場すれば全勝のPN2クラスで全日本出場中の矢野選手が2位に迫ってきています。3位は地元ならではのFC3Sを駆る横山選手が追っています。N1クラスはNクラスとSAクラスとの混走となっているクラスですがN規定の清岡般選手が全戦出場してポイントリーダーを維持、2位は全日本SA2クラスに出場している三浦選手が追い上げています。3位には久しぶりに1位を獲得した大竹選手が入ってきました。SC・D1クラスは昨年オールスター出場のために切谷内まで大型トラ

ックで遠征した若頭の重松良輔選手が2勝してポイントリーダーとなり、昨年の覇者の鈴鹿選手が2位、同クラブの小川選手が3位となっています。このクラスは若手が数名いて頑張ってきています。そろそろ世代交代を迎えるかもしれません。SC・D2クラスは今年から改造車にて復活した川崎勝己選手が2勝してポイントリーダーとなっています。2位は全戦出場し1位を1回獲得した古屋選手が、3位は全戦出場している三好選手が続いています。4位はスタートで出遅れた昨年の覇者・望月選手が、5位には全日本で梶岡選手にマシンを提供しているが初期トラブルにて第1戦に出場できなかった西元選手が、6位には川崎選手とWエントリーしている車両オーナーである梅本選手が入っています。

どのクラスも後半戦に向けて有効ポイントなども絡み混沌としています。10月に九州の恋の浦で開催される西フェスに向けて、Jr戦にも奮って出場していただければと思います。なお、このJr戦ですが、今回の参加30名のうち、学生が8名も含まれていました。若い力の成長を楽しみたいと思います。11月にはJAFカップがカタカタで開催されますので、参加資格をかけて皆さん頑張ってください。また昨年に続き、今年もタカタ・ターマック・ダート・フェスティバル(TDF)は11月22日に開催します。

<http://jmrc-chugoku.org/dirtrial.html>



## 「集大成」の全日本ジムカーナ 地元開催を終えて

近畿ジムカーナでは毎年、地区選手

チャンピオンシリーズ併催)が年間8戦、ミドルシリーズが同じく8戦繰り広げられています。この競技の集大成とも言えるのが、名阪スポーツランドで年に1回開催される全日本選手権です。今年も5月16、17日に無事に終了しました。

運営面では、全日本「でしか」できない要素が多々ありますが、普段の地区戦でできないことを全日本「だけ」できるはずもなく、この点については、

戦う選手の皆さんも運営する主催者側も同じだと思います。

そういう意味でもある「集大成」、この言葉が持つ意味を噛みしめながら、後半戦も引き続き「戦って」行きたいと思えます。

目指すは年間の「集大成」、秋のJAFカップ/JMRCオールスターでの地区対抗優勝!



## 「JMRC通信」のPDFを無料で公開しています!

JMRC各地域から情報をご提供いただいているJMRC通信、最新号のページが、プレイドライブ公式ホームページの専用ページで、PDFにて無料閲覧していただけるようになりました。

各地域ならではの地元情報、強豪選手、クラス分けや規定改編などの情報が満載の同ページを、日頃の活動のツールとしてもぜひご利用ください。

プレイドライブの発行日である毎月1日に更新します。下のバーに明記してあるURLからアクセスを!



<http://playdrive.jp/jmrc/>

<http://www.jmrc-kinki.net>